

JA土幌町と組合員がつくる情報誌

ユートピアしほろ

1月・2月
合併号
No.603

ユートピアしほろ

- ②組合長新年挨拶／役員一覧
- ④会長新年挨拶／役員一覧
- ⑥運営協力委員長会会長新年挨拶
- ⑦女性部長新年挨拶／青年部長新年挨拶
- ⑧干支組合員紹介
- ⑩中央会会長年頭挨拶
- ⑪青年部版 学習会／青年部版 廃プラ回収
- ⑫農協創立90周年記念式典／表彰者一覧
- ⑭アスポお知らせ／今月の運勢
- ⑮クロスワードパズル
- ⑯進めよう国消国産／篠原会長の動静／編集後記

SHIHORO

進めよう! 国消国産



【今回のテーマ】

日本人がお米を
食べなくなって
いるのは本当?

日本人の主食として欠かせない食材ですが、
国民1人・1年当たりの消費量は、約50年で
半分以上まで減っています。



米、肉類、油脂類の
1人・1年当たりの消費量の変化



出典：農林水産省「食料需給表」2020年度
注：1人・1年当たり供給純食料を記載

ごはん茶碗1杯分(150g)で
摂取できる
同程度の栄養素

たんぱく質……牛乳111ml
脂質……食パン(8枚切り)約1/4枚
炭水化物(糖質)……ジャガイモ小3個
カルシウム……ごま油約0.4g
食物繊維……セロリ1/3本
ビタミンB1……キャベツ大1枚
鉄分……ほうれん草1〜2枚

文部科学省「7訂日本食品標準成分表」
より算出による

お米の消費減少の原因は、食の多様化
による主食の変化や朝食を抜くなどさまざ
な理由が考えられる一方で、「太りそう」という
誤解からきています。

お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過
程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪に
なりづらく、カロリーは脂質の半分程度であ
ることから「太りにくい」という特徴がありま
す。

お米を炊くのが面倒……という場合は無
洗米やパックご飯なども活用して、国産米
を食べて農家を応援し、国消国産を進めま
しょう。

耕そう、大地と地域の未来。

編集後記

新年あけましておめでとございます。組合員
ならびにご家族の皆様にとりまして、本年も良い
年となりますよう心よりお祈り申し上げます。
さて、2022年の干支は「壬寅(みずのえと)」。
寅という字には草木が伸び始めるという意味があ
るそうです。そのため、才能や運氣が芽吹き、新
たな成長が期待できる「冬が厳しいほど春の芽吹
きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年」と言わ
れているそうです。昨年は思うように動くことの
できないコロナ禍が続きました。国内外における
情勢も大きく変化する中ではありましたが、全て
の活動を停滞させず、様々な方法を探りながら少
しずつではありますが前へと動き始めたのではな
いでしょうか。依然として予断を許さない状況で
はありますが、この一年は未曾有の事態を乗り越
え、さらに躍進できる華々しいものとなるよう願
うばかりです。
本年につきましても、皆様のご理解とご協力を
いただきながら日々の業務にあたっておりますの
で、変わらぬご指導のほどよろしくお願いいたし
ます。(K)

ユートピア しほろ No.603

- 発行日 / 令和4年1月1日
- 発行 / 土幌町農業協同組合
〒080-1219
河東郡土幌町
字土幌西2線159番地
- 編集 / 組合員相談課
- 題字 / 会長理事 篠原 末治氏



今月の表紙

今号の表紙は十勝平野のイメ
ジそのものの遠くまで続く防風
林と暮盤目状の畑風景。裏表紙
は、1月末に旧土幌駅で開催さ
れる冬のイベントです。土幌
開町から101年目となる
2022年が良い年になります
ように。(右崎)

2022.1・2 No.603



輝かしい新年を迎えて

士幌町農業協同組合

代表理事組合長 國井浩樹

令和4年の希望に満ちた新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様をはじめ女性部、青年部、ご家族皆さんお揃いで穏やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスは未だに世界の社会・経済に大きな影響を与えておりますし、TPP11、欧米との貿易協定、また、中国も参加したRCEPが令和4年1月より発効され、かつてない国際化・自由化の時代を迎え、地球温暖化対策と脱炭素社会への転換、

デジタル化が急速に進展することが見込まれ、農業・農協を取り巻く環境は大転換期を迎えます。原油相場の高止まり等による運賃上昇や円安基調の影響により、原材料価格の国際相場は高値で推移し、資材費高騰は農家経済を圧迫、また昨年3月に決定した5年ごとの食料・農業・農村基本計画では食料安全保障の観点から食料自給率の引き上げを目標に掲げており、これまでの農政との整合性をどうするのか注視が必要であります。

昨年の畑作は、冬季の積雪は少なく土壌凍結が深かった

ものの、4月の気温が高く推移したため例年より早く春耕期を迎え、その後も作物全般順調な生育となりましたが、6月中旬には局地的に時間100mmに及ぶ豪雨・降雹に見舞われ茎葉損傷、土砂流出等の被害が発生しました。その後曇天寡照の時期もありましたが、7月中旬からは一転、記録的な高温干ばつに見舞われ特に早生系の作物で大きな影響を受けた圃場も散見されましたが、その後は好天にも恵まれ、小麦や甜菜では平年を上回る収量を確保できました。酪農については、長引くコ

ロナ禍の影響による需要の低迷と全国的に好調な生乳生産を背景に乳製品在庫が大幅に増加し、燃油の価格及び飼料価格の高騰も相まって経営を圧迫する状況となっております。

肉牛についてはイベント・外食需要は回復しておらず高級部位の引き合いが弱い状況ですが輸入品の出回量減少等もあり、内食需要は堅調に推移しております。引き続き関係機関と連携し、肉牛の生産性向上及び「しほろ牛」の販売促進に向けた取り組みを進めて参ります。

昨年5月には、「協同の力」の象徴となる新事務所での業務がスタートし、また11月21日には、士幌町農協創立90周年記念式典並びに本部事務所新築落成式を挙行させていただきました。改めて今日の強固な経営基盤を築いて頂いた

先人先達に感謝すると共に、次世代への飛躍を誓いたいと思います。

農協はこの90年間、協同組合原則に掲げる【自主・自立】【民主的運営】の基本に立ち、相互扶助の精神の下、農民による農民のための組織として《農村ユートピアの創造》をスローガンに掲げ、組合員の経営と生活の安定とよりよい地域社会の実現を目指して、付加価値事業に代表される各種事業を展開してきました。組合員が農協に結集し、さまざまな難局を乗り越えながら今日の豊かな士幌農業を築き上げてきました。この功績は、組合員のたゆまぬ努力の賜であり【協同】による力の結集の成果でもあります。

近年、農業や農協を取り巻く環境は大きく変化しています。農業者の高齢化、担い手の減少など構造的な課題を抱える一方で、コロナ禍では「農業は国の基」、食料の国内生産の重要性や地産地消の意義について認識が広がっています。こうした食料の国産回帰の流れを一過性にしないよう、士幌町農協はこれからも【堅実第一主義】を基本ビジョンに掲げながら、3ヶ年計画の基本方針であります「未来永劫受け継がれる士幌農業の検証」にしっかりと取り組み、夢ある理想郷の構築という目標に向け、チャレンジすることをおそれず鋭意邁進してまいります。

結びに、今年も組合員とご家族皆様様が穏やかに営農と生活が営めますようご祈念申し上げます。合わせて組合員のご努力が報われる稔り多い豊稔の出来秋を願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も

宜しくお願ひ
申し上げます。

令和四年 元旦

代表理事組合長	國井浩樹
専務理事	菊地和浩
常務理事	久保武美
会長理事	篠原末治
理事総務委員長	吉田久
理事生産委員長	藤村裕一
理事業務委員長	西部真樹
理事	千葉公一
理事	佐藤孝司
理事	曾我透
理事	富田博文
理事	宇佐見豊文
理事	亀村敏雄
理事	高橋晶広
理事	藤井淳一
理事	渡部雅晴
理事	井原誠一
理事	茂古沼真司
理事	河村幸芳
理事	名波道明
理事	加藤智

農協運営協力委員会

中士幌地区	中波俊一
士幌南地区	森本章敬
士幌北地区	服部義文
佐倉地区	梅本晴紀
上居辺地区	井上義宏
下居辺地区	大塚亨
中音更地区	小林直人
新田地区	高橋竜
西上地区	遠藤哲也

畑作専門委員会

委員長	中島直行
副委員長	大野勝教
委員	森本章敬
委員	井上義宏
委員	長田直弘
委員	鎌田知昇
委員	橋原健
委員	大野明
委員	伊賀勝彦
委員	佐藤和央



輝かしい新年を迎えて

士幌町農業協同組合

会長理事 篠原末治

令和四年の新たな希望に満ちた新春を、組合員の皆様をはじめ女性部、青年部、ご家族の皆様お揃いで穏やかに迎えにいられたことと心からお慶びを申し上げます。

さて、一昨年より世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、全世界では約2億5千万の罹患者と500万人を超える死者を出しており、ヨーロッパをはじめとしてまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、日本国内では高いワクチン接種率とマスク着用の励行や生来の免疫機能によるものか、誰もが「第6波がいつ到来するか」との危機感を持ちながらも12月上旬までのところは小康状態で推移しております。直近ではオミクロン変異株出現などの拡大リスク要因も見

られますが、一方では昨年11月にはイギリスで世界初となる新型コロナウイルスに対する飲むタイプの抗ウイルス薬が承認され国内でも申請手続きに入るほか、3回目のワクチン接種開始など、着実に新型コロナウイルス感染症対策が構築されつつあります。今後も一人一人が感染しない、うつさないための予防策を徹底しながら、一日も早い終息による社会・経済の回復、何より農畜産物の需給緩和解消を望むところです。

また、昨年は組合創立90周年を迎え、コロナ禍という厳しい環境の中ではありましたが11月には本部事務所新築落成と合わせて記念式典が盛会に開催されました。先人が幾多の困難を乗り越えながら築

き上げてきた士幌農業の歴史に思いを馳せながら、長く厳しい農協運動の道程を歩んでこられた先人先達のご苦労に対して深甚なる敬意を表すとともに、今日まで引き継がれた伝統を見失うことなく、次なる百年・一世紀に向けて組合員・役職員が一体となり強靱な絆のもと総合力で立ち向かい、更なる挑戦を誓い合うことができました。これも一重に組合員、ご家族の皆様、女性部、青年部の皆様のご協力あつての賜物と、この場を借りて改めてお礼申し上げます。次第でございます。

さて、昨年を振り返りますと、4月上旬の気温がやや高めに推移したため例年より早く播種・植付作業が開始されましたが、6月中旬には「100年に一度」

とされた時間100mmを超える局地的集中豪雨や降雹に見舞われ、ビートを中心に茎葉損傷や土砂流出等の被害が発生し、一転して7月中旬からは、これも「100年に一度」と言われた記録的高温と長期間の干ばつに見舞われ、作物により圃場差や地域差が大きい状況が見られましたが、総じて各作物ともに良好な収量・品質になるとの喜ばしい状況をお聞きしております。

12月に入って、アメリカで史上最悪と言われる竜巻による目を覆いたくなる惨状がテレビで放映されたことは記憶に新しいところですが、十勝でも「日高おろし」と呼ばれた急速に発達した低気圧による強風が十勝中部地域を中心に発生し、ビニールハウスや牛舎の倒壊などの被害のほか、胆振東部地震の際のブラックアウト以来となる6千戸を超える停電被害が発生しました。また、秋から年末にかけては北海道太平洋岸を「赤潮」が襲い、サケ、ウニなどの北海道を代表する特産水産物に多大な被害が発生するなど、1年を通して、これまでは見られなかった様な地球温暖化の影響がま

さに具現化してきていると実感する事象が身近に起こりました。脱炭素社会への転換、SDGsへの貢献が喫緊課題として求められ、「みどりの食料システム戦略」による調達から生産、加工・流通、消費における関係者の意欲的な取組と革新的な技術・生産体系の開発と社会実装に向けて取り組んで行かなければならないとともに、これまでとはレベルが異なる強風や集中豪雨に耐えうる基盤整備が急務となっておりま。また中国も参加したRCEPも年明け1月には発効する事となり、TPP11、欧・米とのFTAなど、かつてない国際化・自由化の時代を迎え、農業・農協を取り巻く情勢は大転換期を迎えておりますが、地球環境や社会・経済がどのように変化しようとも、これまで以上に柔軟に即応しながらも、先人先達から受け継いだ歴史と伝統を堅持しながら、この士幌農業の基盤を更に強靱にして次なる世代に未来永劫と引き継がれる様、持続可能な地域社会を皆さまと模索しながら進んで参りたいと存じます。また、持続可能な営農と生

活、農業はまさに「健康な身体」が「資本」であり「基」となるものです。昨年から第4次組合員健康診断助成事業が地区運営協力委員会と連携してスタート致しました。物心両面での豊かさを享受できるのも、ご家族全員が何より健康であることが基本となりますので、百年に向かう「はじまりの第一歩」となるこの新年から、農地生産基盤の強靱化に向けた計画立案と合わせて、人間ドックなど健康診断の受診計画をご検討頂きますようお願い致します。

先人が幾多の困難を乗り越えながら築き上げてきた基盤のもとで安定した営みができることに改めて感謝しながら、将来に夢と希望を抱くことのできる農村理想郷「ユートピア」を目指して、この基盤を次世代に繋いでいきたいと思ひます。結びに、今年も組合員とご家族皆様のご健康で穏やかに営農と生活が営めますようご祈念申し上げ、あわせて組合員のご努力が報われる稔り多い豊穡の出来秋を願ひまして新年のご挨拶とさせていただきます。



畜産専門委員会

委員長	長 遠 藤 哲也
副委員長	長 宇佐見 庸夫
委員	高 橋 竜
高 橋 勝也	
寺 町 雅人	
桑 原 晃	
力 石 和彦	
鎌 田 佳尚	
奥 秋 博	

女性部

部長	長 曾我 礼子
副部長	長 森本 睦美
書記	宇佐見 千恵美
計 伊 賀 亜矢子	
中 波 小夜子	
二 川 淳子	
富 田 史子	
篠 原 明子	
長 船 公美	

青年部

部長	長 酒井 敬明
副部長	長 渡邊 一真
書記	森 本 絢哉
長 國 井 宏理	
永 藤 洸介	
遠 藤 斗士	
渡 邊 覚	
嘉 藤 康典	
野 村 正喜	
遠 藤 博人	
香 川 勇平	
國 枝 周平	
瀬 戸 康之	
岡 田 達矢	
菊 地 伸輔	

参事	高 橋 弘行
参事兼管理部長	西 田 康一
内部監査室長	清 水 長武
信用部長	平 林 路博
購買部長	高 橋 章
農工部長	尾 関 博幸
農産部長	吉 川 恵介
畜産部長	吉 川 晴美

年頭のご挨拶



農協運営協力委員長会
会長 服部 義文

新年あけましておめでとうございます。
組合員並びにご家族をはじめ役職員の皆様におかれましては、輝かしい令和4年の新春を穏やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より地区農協運営協力委員会並びに協力委員長会の活動に対し、特段のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、本年度に於きましても新型コロナウィルスの影響を受け、各事業を開催することが出来ない状況について、皆様にご理解頂いていことに心からお礼申し上げますと共に、今後事業が開催できる状況になった際には、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は土幌町農協が創立90周年という記念すべき年を迎えました。新築工事が進められていた本部事務所が完成し、5月6日より業務が開始され、11月21日には組合創立90周年記念式典並びに事務所新築落成式が挙行されました。今こうして本部事務所が新築され、創立90周年を迎えられた事を先人先達に心より感謝すると共に、今まで築き上げて頂いたものを100年、またその先を担って頂く人達に引き繋られ、土幌町農協が更に発展して行く事を祈念致します。

また、昨年は積雪が少なく土壌凍結が深かったものの融解が早かったことから、播種・植付け作業は順調に進みました。しかし、6月に入って、短時間集中豪雨を降雹に見舞われ、さらに7月下旬まで高温

干ばつの影響を受け、部分的に生育不良や枯死等の被害が発生し、馬鈴しよ、豆類においては小粒傾向となるなど、各作物において、収量・品質に影響を受けました。そんな中でも小麦は収量・品質共に良好、てん菜についても高収量と、作物によつては平年並みか平年を上回るものがあつたものの、地域差が大きい出来秋となりました。農業は毎年が「一年生」と言われるように、毎年違う自然を相手に、今までの経験や最新技術をもつてその年の最善の結果となるように日々努力をしなければなりません。今年こそは穏やかな一年になるようお願いしたいと思います。

農業情勢はTPP11、日欧EPA、日米貿易協定、未だ終息の兆しが見えてこないコロナ禍、油類を始めとする資材の高騰等の影響を受け、今後ますます厳しい情勢になると感じています。私たちは引き続き新たな時代に向け、組合員、女性部、青年部、役員、職員の皆様と共に、土幌農協に力を集結して参りたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸と共に、皆様のご努力が報われ、豊穡の出来秋を迎えられますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶



女性部部长 曾 我 礼子

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しましてご理解とお力添えをいただき心よりお礼申し上げます。

昨年は、書面での総会以降も活動が制限され、部員の皆様と直接顔を合わせることなく令和4年を迎える事となりました。その様な中에서도出来ることは何かと役員一同模索してまいりました。そこで小・中学校、社会福祉協議会への「SDGsかるた」の寄贈、長期に渡りご協力頂いております牛乳パック・食品トレイ回収運動、愛のタオル運動などのボランティア活動、また、研修会に代わる学びとして、近年自然災害が頻発する中、防災についての意識付けとなる様、防災グッズおよび書籍の配布を決めました。

このコロナ禍は私達の生活や常識を大きく変えた一方、今までとは違ったかたちで活動が行われ、気付きも多くありました。より良い情報は柔軟にとり入れ、次年度は顔を合わせての活動が出来ます事を願っております。

昨年は農協創立90周年、開町100周年の節目に立ち会うことが出来、貴重な経験をさせていただきました。近く70周年を迎える女性部としての歴史があつての今があることを、改めて感じました。結びに、女性部活動へのご理解と、ご協力をお願いするのとともに、組合員並びにご家族様のご健勝、各関係機関のご繁栄と実り豊かな一年になります様祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



青年部部长 酒 井 敬 明

新年明けましておめでとうございます。

2022年の新春をご健勝にて迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より青年部活動に対しまして、多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年の我ら青年部は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、新しいスタイルを模索しながら、感染防止対策を徹底して各種研修会、学習会を行いました。中でも土幌小学校の児童を対象とした「こどもアグリスクール」では、収穫体験と馬鈴薯に詳しくなる授業、酪農に関する出前授業を実施し、食の大切さや基幹産業である農業をより身近に感じてもらうことが出来て、大きな成果になりました。また、前年度中止となつた新入部員を対象とした研修会も開催し、昨年、創立90周年を迎えた土幌農協、土幌農業の基盤を築き上げて来られた先人達の情熱と信念を学び、身の引き締まる充実した研修となり、明日の担い手を育成する活動も行えました。

最後になりましたが、組合員並びにご家族の皆様、各関係機関の皆様にとりまして、今年一年が豊穡の年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

昭和37年生まれ



長船 興宣



清水 宏昭



瀬戸 政美



山田 純理



菊地 和浩



宇佐見 雄二



野村 晃

昭和61年生まれ



石水 諒



大野 裕貴



中井 琢也



佐藤 勝士



松山 隆多

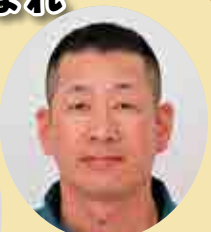
昭和49年生まれ



大野 健二



佐藤 幸作



岡部 真吾



藤内 誠



赤間 博之



大野 勝教

はじめが肝心 初貯金

本年の農協貯金の窓口業務は1月4日(火)から仕事始めとなります。

何卒宜しくお願い申し上げます。

今年も貯金課では、ご来所いただいた方に福を呼ぶ「福鈴」を差し上げます。数に限りがあり、無くなり次第終了致しますのでご了承下さい。



「福鈴」は、根付鈴、宝来鈴とも呼ばれ、江戸時代元禄期ごろより印籠、巾着、提物等の緒の根元につけ、粋なアクセサリーとして愛用されました。また御身を守る、お宝を呼ぶという縁起物で、小さな鈴の音が大きな福を呼びそうです。

今年の干支、「寅年」生まれの組合員を紹介します。

年男 年女

としおとこ

としおんな

※ご本人の希望により掲載されていない方もおられますので、申し添えます。



昭和13年生まれ



大野 准弼



田中 豊実



大石 文雄



藤内 真夫

大正15年生まれ



長屋八重子



加藤 守

昭和25年生まれ



石川 俊博



加納 文一



波多野 勝



坂本 育雄



松山 幸雄



富田 実



加納 康司



田辺 一則



河村 博道



加納 清



遠藤 行雄



横山 克己



佐藤 博一

令和4年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した電や大雨により、一部の地域や作物によつては生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持つており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



JA組織学習会を開催 農協組織への理解を深める

JA士幌町青年部理事会担い手担当（遠藤光介理事長）では11月24日（水）、昨年度中止とした「青年部JA組織学習会」を、本年度・昨年度の新入部員併せて13名参加のもと開催致しました。本活動は農協組織への理解を深め知識と見識を広げることを目的としており青年部三役と青年部理事会担い手担当も参加致しました。



澱粉工場での見学の様子

振興公社での説明の様子



参加部員で記念撮影



農薬空容器回収にご協力ありがとうございました

JA士幌町青年部（酒井敬明部長）では、11月16日（火）事業計画に基づき、今年度第2回目の農薬空容器回収を行いました。

当日は、好天に恵まれ組合員皆様方のご協力のもとスムーズに農薬空容器回収ができましたことに感謝申し上げます。

空容器の洗浄・乾燥につきましては例年以上に徹底されているとともに、本年度第一回の農薬空容器回収と比べ、表示義務となっている「産業廃棄物収集運搬車」の表示をしっかりとなされておりました。今後、本活動のご理解とご協力をお願い申し上げます。



回収作業の様子



作業に従事した青年部員

90年の歴史を振り返り盛大に開催



曾我礼子女性部長と酒井敬明青年部長による JA 綱領朗読



式典を彩った弦楽四重奏の演奏

士幌町農業協同組合創立90周年記念式典が11月21日（日）農協2階大ホールにて、組合員を始め町内外関係者ら約300名の出席のもと盛大に開催されました。

本組合は、その前身である士幌村産業組合として昭和6年に創立され、その後昭和19年に農業会に移行、更に戦後の農協法により昭和23年に現在の農業協同組合となりました。

式典は、感染対策に配慮された形で行われ、参加者の方には検温と手指の消毒をお願いし、席の配置及び換気対策をして開催されました。

最初に、弦楽四重奏の演奏が流れる中、会場に設置されたスクリーンにオープニング映像が映し出された後、菊地専務の開式の辞に始まり、先人先達に黙祷を捧げた後、曾我礼子女性部長と酒井敬明青年部長によりJA綱領が朗読されました。本来であれば、出席者全員で声高らかに朗唱するところではありますが、感染対策のため心の中での斉唱をお願いする形となりました。

その後、國井組合長は式辞で「農業の将来に『希望』という光を求めて90年という長い農協運動の道のりを歩んでこられた先人先達が残した歴史と伝統を見失うことなく、幾多の試練を乗り越え、今日の士幌農業、士幌町農協を築き上げられたように、運営協力委員会、女性部、青年部、役職員が今以上に一体感を強め、国民の生命を守る食料生産者としての自負心を持ち、豊かで幸せな『農村ユートピア』の実現に邁進して参りたいと思います。100年・一世紀に向けて時代の変化に対応し『堅実第一主義』を基本に、組合員・役職員が一体となり強靱な絆のもと総合力で立ち向かい、この士幌農協の基盤が未来永劫に受け継がれるよう、更なる挑戦を皆さんと誓い合いたい」と決意を新たにしました。



感謝状・表彰状・記念品の贈呈では、組合員、役職員合わせて延べ162名に國井組合長より賞状及び記念品が贈られました。（贈呈者は左記のとおり）

続いて、有塚利宣十勝地区農協組合長、小林康雄士幌町町長（高木康弘副町長代読）、服部義文農協運営協力委員長、会長より祝辞をいただき、久保常務の開式の辞によって式典は終了しました。



祝辞を述べる有塚会長



祝辞を述べる服部会長



町長の祝辞を代読する高木副町長



表彰を受ける（故）高橋正道氏の節子夫人



表彰状を受け取る篠原末治氏



式辞を述べる國井組合長

◇感謝状贈呈者（敬称略）

- ◆歴代組合長（80周年以降対象者）
（故）高橋 正道
篠原 末治
- ◆常勤役員在任5年以上
早坂 孝夫、井上 恵一、七條 光寛
- ◆特別功勞役員
中島 利一、菊地 和浩、久保 武美、茂古沼真司
- ◆役員在任15年以上
兼山 喜市、松山 一美、小林 雅明、飯沼 実
- ◆役員在任10年以上
国井 克美、上野 操、吉田 久
名波 道明、國枝 俊彦、田中 秀明
- ◆役員在任5年以上
成瀬 功、佐藤 孝司、西部 真樹
山下 博司、藤村 裕一、井原 誠一
渡部 雅晴、亀村 敏雄、河村 幸芳
- ◆地区農協運営協力委員長在任3年以上
脇原 喬弘、西潟 勝幸、河口 和吉
宮野 雅彦、宮崎 浩一、角田富美幸
酒井 欣造、石垣 寿典、佐藤 輝美
- ◆酪農振興協議会 会長在任3年以上
佐々木健二
- ◆肉牛振興会 会長在任3年以上
鎌田 尚吾
- ◆馬鈴薯振興会会長 会長在任3年以上
藤井 淳一、永井 武志
- ◆甜菜振興会会長 会長在任3年以上
森本 悦淑、和田 智志
- ◆麦作連絡協議会 会長在任3年以上
加納 利男
- ◆蔬菜生産振興協議会 会長在任3年以上
宇佐見豊文、鎌田 知昇
- ◆特別功勞企業（事務所建設関係企業）
株式会社サン設計事務所 代表取締役社長 吉岡 潤三
北斗産業株式会社 代表取締役社長 瓦井 弘己
士幌電設株式会社 代表取締役社長 田中 浩久
株式会社奥原商会 代表取締役 奥原 宏

- ◆特別功勞職員
高橋 弘行、西田 康一、高橋 章
吉川 晴美、吉川 恵介、清水 長武
平林 路博、尾関 博幸、高橋 勇司
山崎 崇之

◇表彰状贈呈者（敬称略）

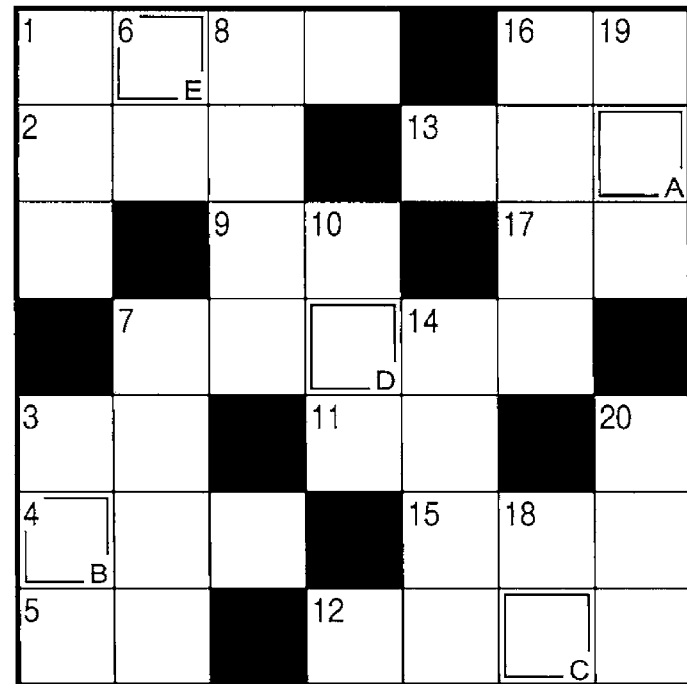
- 永年勤続職員
- ◆勤続35年以上
香川みどり、川瀬 博幸
- ◆勤続30年以上
新村 徹、樋山 晃、山木 博己
堀部 尚、相澤 直美、半田美和子
石川 雅久、福原 郁夫、佐藤 友己
森下 雅一



CROSSWORD PUZZLE クロスワードパズル

あたまたいそう

二重マスの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉はなんですか？



応募方法

- 別紙の応募用紙にお答え・お名前・ご住所・お電話番号を記入して下さい。
- 応募は、アスポサービスカウンター・各事業所・組合員相談課にある応募箱へ投函して下さい。
- お一人さま一口のご応募を有効とさせていただきます。
- 正解者の中から抽選で10名様に、すてきなプレゼントをご用意しております。
- プレゼントは、組合員相談課でお渡し致します。
- 当選者は、次号にて掲載致します。

当選者発表

おめでとうございます

12月号掲載問題の応募者は86名で85名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の方が当選しました。当選者には、組合員相談課にてプレゼントをお渡し致します。

- 宇佐見真有加 さん ●原田 詩乃 さん
- 加納 美恵 さん ●篠原スミエ さん
- 赤津 弥美 さん ●近藤 末子 さん
- 河田 三紀 さん ●高橋 瑞季 さん
- 小倉セイ子 さん ●今松 時子 さん



今月の抽選者
加納 利春さん

タテの力ギ

- 1 オイルショックともいわれる——危機
- 3 分度器で測ります
- 6 栗の実のトゲトゲ
- 7 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- 8 遊園地で——コースターに乗った
- 10 おでんに添える黄色い薬味
- 14 年下の女きょうだいのこと
- 16 屋外で行うことも多い教科
- 18 ミカンのものは手でむけます
- 19 おしゃれな——でランチを楽しんだ
- 20 「オリオン」「おいぬ」「カシオペア」といえば

ヨコの力ギ

- 1 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
- 2 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
- 3 下手な鉄砲も——撃ちゃ当たる
- 4 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- 5 水が混じって軟らかくなった土
- 7 これが三つで三振
- 9 土を盛り上げて作ります
- 11 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- 12 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- 13 果物——を使ってリンゴをむいた
- 15 遠回りをすること
- 16 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- 17 やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ

応募締切り

1月17日
(月)

12月号の正解/プレゼント



Aコープ士幌店 お年玉謝恩セール **ASPO店限定** (アスポ)

初売 大抽選会!!

2日・3日開催 合計で**62名**様に**BIG**チャンス!

応募方法 期間中、Aコープ士幌店で2,000円(税込)以上のお買上げレシート1枚につきレジにて応募券を1枚進呈します。
※応募券に必要事項をご記入の上、店内設置の応募箱に入れて下さい。

応募締切日 令和4年1月6日(木) 店内応募箱に応募分迄

当選発表 令和4年1月10日(月)頃に発表

※当選者は店内にて発表させていただきます。
※賞品はサービスカウンターにて引き渡しいたします。
※ご応募いただいたお客様の個人情報、Aコープ士幌店にて厳重に管理の上、本キャンペーンのみに使用させていただきます。

お知らせ INFORMATION

アスポ

営業時間 9:30～19:00
(2日、3日は9:30～17:00)
(6日は9:30～18:00)

休業日 1月1日(土)、4日(火)、5日(水)

ガソリンスタンド

士幌給油所

●スタッフ

営業時間 8:30～18:30
(2日、3日は9:30～17:00、6日は8:30～18:00)
※2日はピット作業はお休みです。

休業日 1月1日(土)、4日(火)、5日(水)
毎週日曜日(但し、2日は営業)

●セルフ

営業時間 7:00～20:00
休業日 1月は休まず営業

2022

1

今月のあなたの運勢

HORO©

牡羊座

3月21日～4月19日

全体運：やるべきことが多い中何に着手すればいいのかわかりにくいです。計画を立て着実に。好結果が待っています

健康運：適度に体を動かすのが一番の健康法

幸運の食べ物：ナバナ

牡牛座

4月20日～5月20日

全体運：好調運です。やりたいことをリストにし今年の目標を立てて。実り多い年にできます。技術の取得にツキあり

健康運：痛いところがあるときは無理をしないこと

幸運の食べ物：ヒラメ

双子座

5月21日～6月21日

全体運：つい、うっかりしてしまいがち。安全点検はしっかりと。いつも使う物は特に入念に手入れをしておきましょう

健康運：記録にこだわり過ぎず運動を楽しんで

幸運の食べ物：チョコリ

蟹座

6月22日～7月22日

全体運：交友関係が活発化。1人では難しいことも協力者を募れば何とかなります。知恵を借りるときは謙虚に話を聞いて

健康運：食事はバランス良く。野菜多めが◎

幸運の食べ物：フキのとう

獅子座

7月23日～8月22日

全体運：「いつもと同じ」が幸運のキーワード。伝統や習慣を大切に。手間のかかる作業丁寧に進めれば問題も解決へ

健康運：好きな運動ほど健康効果が高そう。楽しんで

幸運の食べ物：小松菜

乙女座

8月23日～9月22日

全体運：少し暴走気味の傾向はあるものの発展的。周囲の意見を聞くよう心掛けて。一緒に喜んでくれる人がいるのが大事

健康運：あったか靴下で足元を冷えからガード

幸運の食べ物：ヤマトイモ

天秤座

9月23日～10月23日

全体運：にぎやかなお正月に。忙しさはあるものの周囲の笑顔があなたを幸せな気持ちにしてくれます。小旅行も吉。手紙やメールの返信は早めに

健康運：グループで運動を楽しみながら健康維持

幸運の食べ物：ダイコン

蠍座

10月24日～11月22日

全体運：少し遠出をして行動範囲を広げると幸運をキャッチできます。小旅行も吉。手紙やメールの返信は早めに

健康運：食事は目でも楽しみ、腹八分目を心掛けて

幸運の食べ物：ミカン

射手座

11月23日～12月21日

全体運：先を急ぐあなたに周りが右往左往。多少言い争いもあるものの楽しい期間です。話を聞く耳を持つともっと発展的に

健康運：力を出せます。動き過ぎには気を付けて

幸運の食べ物：シュンギク

山羊座

12月22日～1月19日

全体運：ハッピーな年明けです。あなたの行動が周りの人も幸せな気分。楽しい予定を立てて。人の世話を焼くのも◎

健康運：頭や首のつばを刺激してストレスを軽減

幸運の食べ物：ハクサイ

水瓶座

1月20日～2月18日

全体運：上昇運です。定まらないことを形にしていける作業にツキがあります。年間予定を立てるなど前向きに動いて

健康運：楽しみながらできる運動でパワーアップ!

幸運の食べ物：クワイ

魚座

2月19日～3月20日

全体運：考え過ぎは禁物。結論が出ないことは少し横に置いておいて。時の流れに任せた方がいい方向へ。おしゃべり吉

健康運：質のいい睡眠は元気の源。枕選びにこだわって

幸運の食べ物：マダイ